

Workshop Living MateriArchitecture

生物に学ぶ材料と建築・都市デザイン ～nmからkmのバイオミメティクス～

2020年3月10日(火)～11日(水) 大阪大学コンベンションセンター

近年、生物に学ぶバイオミメティクス (BM) 研究が世界中で活性化している。世界潮流では、従来の「ナノテクによる材料開発」とサイズは逆方向の「森林・海洋・生態系に学ぶ都市計画・建築」という広域BMが特に、欧州で活況である。そこで、わが国のBMネットワークを踏まえ、広域BM主体の分野間交流をより一層、深める意義は大きい。本Workshopでは、わが国の将来を見据え、産官学で新たなネットワーク・環境整備を行う契機としたい。(聴講は無料)

3月10日(火) 10:30-

海外 ■ 産 ■ 官 ■ 学 ■

■ 岡田 明彦 (NEDO 技術戦略研究センター)

社会的ニーズに基づくNEDOによる技術アプローチ

■ Thomas SPECK (ドイツ Univ. of Freiburg 教授)

生物に学ぶ適応材料システム：21世紀におけるスマートアーキテクチャの概念

■ 下村 政嗣 (公立千歳科学技術大学理工学部 特任教授)

バイオミメティクス：アントロポセン (人新世) における持続可能なサバイバルパラダイム

■ 酒井 敏 (京都大学 人間・環境学研究科 教授)

三次元だけでなく二次元：フラクタルの必要性

■ 杉本 マキ (大和ハウス工業)

バイオミメティクスへの温故知新 ～創業者精神と現在の取り組み

■ 飛鳥 政宏 (積水インテグレートドリサーチ)

自然からの着想で製品を革新する方法と考え方

3月11日(水) 10:30-

■ 谷口 守 (筑波大学

システム情報工学研究科 教授)

生き物に学ぶ都市計画

■ Estelle CRUZ (フランス CEEBIOS

プロジェクトマネジャー)

建築とバイオミメティクス：

その文脈と接点

■ 山本 昌仁 (たねやグループ CEO)

自然に学ぶ、たねやグループの取り組み

■ 蕪木 伸一 (大成建設 設計本部)

都市生態系を考慮した都市再開発の実践

■ 齋藤 彰 (阪大 工学研究科 准教授)

バイオミメティクスにおける

「材料から建築へ」の橋渡し

閉会あいさつ

連絡先： livingma@prec.eng.osaka-u.ac.jp

Homepage: <http://www-ss.prec.eng.osaka-u.ac.jp/LivingMA/program.html>

